

## 2022年度 同志社ローム記念館プロジェクト PPPメンバー募集

2021年度からRPP・SPPIに参加するためにPPPの受講が必須となりました。2022年度のPPPIは4月中旬から約50日間実施予定です。メンバー募集に関する情報は3月頃からWebサイトやSNSでお知らせします。PPPでは社会へ出て役立つ基本的なスキルを学べます。ご参加をお待ちしています！



## 同志社ローム記念館Webサイト・SNSについて

同志社ローム記念館やプロジェクトに関するお知らせをWebサイトと各種SNSで情報発信をしています。学生の「いま」をお届け。ぜひご覧ください！



### 編集後記

プロジェクトは「判断の連続」だ。プロジェクトのスタート前にはスケジュールをたて、タスクを洗い出し、万全の準備をするが、実際にプロジェクトが始まると、想定していなかった問題や壁が立ち塞がる。その時、必要になるのが「判断」だ。状況を分析し、メリット・デメリットを踏まえて可能な限りベストな「判断」をする。それが私が大学生時代に同志社ローム記念館プロジェクトを通して学んだことの1つだ。さて、今年の春からどういふ運命のいたずらか、同志社ローム記念館事務室で働いている。社会が変わっていく中、プロジェクトも大きな変化を求められた。今までの活動を見直し、新しいプログラムを構築したが、実際に活動を進めていくと、トラブルが大なり小なり発生。やはり、ここでも求められるのが「判断」だ。特にコロナ禍では、今まで当たり前だと思っていたことが通用しない。自分の判断が間違っていないか躊躇する場面もある。それでも「今、プロジェクトに参加している学生にとってベストは何か」という軸を心に持ち続け「判断」してきた。今年度の活動も残り数か月。残された時間で何ができるのか各プロジェクトで「判断」して、集大成につなげてほしいと願っているし、そのためのサポートをこれからも続けていきたいと思う。

(同志社ローム記念館プロジェクト コーディネーター 後藤 百合絵)

### 表紙の人

DERC CanSat プロジェクト  
岡田美咲さん  
同志社大学 理工学部  
機械システム工学科2年

いつも「ばっ」と場が華やぐような笑顔が印象的。でも機械を取り扱うその姿は真剣そのもの。友人から話を聞き、面白そうとメンバーに。構造班のプロジェクトマネージャーを務めている。写真は大会出場のため制作していた機体に使用するタイヤを、フライス盤を用いて加工する様子。大会は書類審査を通過したが、感染拡大の影響で実際に機体を動かす競技には参加できず。気持ちを切り替えて、現在は2022年度の衛星設計コンテストに向けて準備を進めている。

## 同志社ローム記念館プロジェクト・サポート募金のお願い

プロジェクト活動へのご支援をよろしくお願いたします。  
こちらからお申し込みいただけます。



## 同志社ローム記念館とは・・・

京都に本社を置く半導体メーカー、ローム株式会社の寄付をもとに2003年に設立されました。学生・生徒が集う開放的な学びの空間があり、1年を通して様々な課題に取り組む、「同志社ローム記念館プロジェクト」の拠点としても活用される情報教育施設です。

# DIR

[ディー・アール]

# 整 理 頓







# ここから始まる、 新しい「プロジェクト」

ここから始まる新しい「プロジェクト」  
① はじめに

「世界はこれから、どうなってしまうんだろうか。」  
 猛威を振るう、新型コロナウイルス。この2年間、誰もが一度は、そう思ったのではないだろうか。  
 2003年からスタートした正課外の実践型教育プログラム「同志社ローム記念館プロジェクト」も活動の危機に…。  
 賑わいの消えたプロジェクトルーム、制限される活動、試みる新しい生活様式。すべてが一変してしまった。  
 社会が大きく変わっていく今だからこそ、同志社ローム記念館プロジェクトではプログラムを大きく刷新。  
 With コロナに対応する新たな仕組みを構築し、再始動。さあ、誰も答えをもたないこの時代に挑戦していこう。

**Pick up!** さあ、はじめよう！ 新しい「同志社ローム記念館プロジェクト」って？  
2つのステップで、なりたいワタシに近づいていく

**STEP 1** 約50日間！ 受講必須！

**PPP** プレ・プロジェクト・プログラム

完全オンラインの教育プログラム。  
企業でプロジェクトマネージャーとして活躍する講師による講義やグループワークを体験し社会で必要な知識やスキルを学ぶ！

**スケジュール**

プレワーク 基礎講座 セルフワーク グループワーク

自分自身を振り返ろう！ 講師によるオンライン講義 アイデア出しに挑戦！ プロジェクトの企画・計画に挑戦

**ポイント**

PPPを新たなプログラムとして新設。  
プロジェクトを実施するための基礎力を身に付け、RPP・SPPと次のステップへ進む。

**STEP 2** 半年もしくは1年間

**RPP** レギュラー・プロジェクト・プログラム

同志社ローム記念館が設立された2003年度から実施している、学生・生徒主体のプロジェクト。自由にテーマを設定し、持続可能な社会の実現に向けてプロジェクトを企画。新しいモノやしくみを生み出すために活動を展開。

数か月の短期間

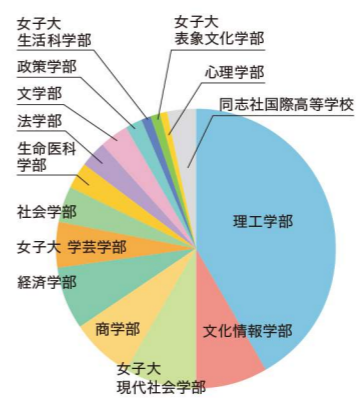
**SPP** ショート・プロジェクト・プログラム

企業や自治体主導でテーマを設定する短期プロジェクト。学生・生徒は、企業・団体の第一線で活躍する社会人とプロジェクトを推進することで、授業だけでは得ることのできない知見や経験を積むことができる。

## 2021年度 プロジェクトメンバー数 (PPP修了生)

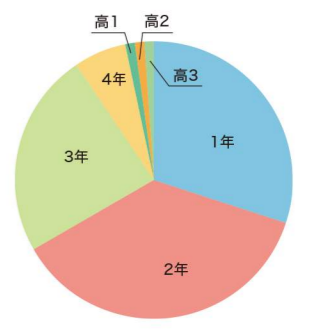
学部別

| 所属学部       | 人数 |
|------------|----|
| 理工学部       | 40 |
| 文化情報学部     | 8  |
| 女子大 現代社会学部 | 8  |
| 商学部        | 6  |
| 経済学部       | 7  |
| 女子大 学芸学部   | 5  |
| 社会学部       | 4  |
| 生命医科学部     | 3  |
| 法学部        | 3  |
| 文学部        | 3  |
| 政策学部       | 2  |
| 女子大 生活科学部  | 1  |
| 女子大 表象文化学部 | 1  |
| 心理学部       | 1  |
| 同志社国際高等学校  | 3  |
| 合計         | 95 |



学年別

| 学年構成 | 人数 |
|------|----|
| 1年   | 29 |
| 2年   | 35 |
| 3年   | 22 |
| 4年   | 6  |
| 高1   | 1  |
| 高2   | 1  |
| 高3   | 1  |
| 合計   | 95 |





# 2021年度プロジェクト紹介・活動レポート

## PPP

TeamsやZoomなどデジタル技術を駆使した、完全オンラインのプログラム。オンラインで完結するため、京田辺キャンパスの大学生はもちろん、今出川キャンパスの大学生や、同志社国際高等学校の生徒も多く参加した。

2021年度は春学期と秋学期の年2回 PPPを開催することが決定しメンバーを募集。春学期はプログラム内容が変更となり初めてのメンバー募集だったため、参加者が集まるか不安だったが、予想を上回る人気ぶりで、募集開始からわずか2日間で定員に達した。プログラム実施のための基礎力を身に着けた学生・生徒が次のステップとしてSPPやRPPへ進む。

|     |      |            |     |      |             |
|-----|------|------------|-----|------|-------------|
| 春学期 | 修了生  | 63名        | 秋学期 | 修了生  | 32名         |
|     | 実施期間 | 4月20日～7月9日 |     | 実施期間 | 10月15日～1月7日 |



グループワークなど全ての活動をオンラインで実施。試行錯誤を繰り返して、活動しやすい方法を模索。

## SPP

企業・自治体と連携して行うプログラム。今年度は木津川市と連携。パン屋を巡るイベント「きづがわパンフェス」をPRし、誘客につなげるための動画を同志社大学と同志社女子大学の学生が2グループに分かれて制作。木津川市公式YouTube「木津川市インターネット放送局」にて公開された。(詳しくはp6・p10へ)

木津川市との連携プロジェクト 参加団体 ▶ 木津川市 マチオモイ部 観光商工課 メンバー数 ▶ 9名

今回のプロジェクトは、学生生活では体験できない業務受託のノウハウを学ぶため、「市による業務委託」のプロセスに沿って進められた。学生が採用を目指してプレゼンテーションを行い、市職員による審査や学生同士の評価を経て2つの企画が採用された。企画ごとに動画の内容をオンラインで議論し、市職員のアドバイスを受けながら絵コンテを作成。その後、撮影・編集し、PR動画を完成させた。感染症対策のため、対面での活動に制限があるなか、各グループが工夫をこらして活動を行い、動画の公開後は、個人ワークにより効果検証した。

▶ MTGなど活動は原則オンラインで実施。



対面イベント形式で開催予定だった「きづがわパンフェス」も感染拡大の影響を受け各店舗での実施に変更。PR動画制作中だったが各グループが内容を柔軟に変更して動画を完成。

## RPP

2003年度から実施している、学生主体のプロジェクト。プログラム内容の刷新にともない、新規プロジェクトの採択が春と夏の「年2回」に変更。今年度、選考を経て採択されたプロジェクトは合計3つ。感染対策を取りつつ工夫を凝らして活動を展開。(詳しくはp5・p6へ)

### DERC CanSat プロジェクト RM220

プロジェクトリーダー  
田儀 樹 (同志社大学 工学部3年)

プロジェクト責任者  
平田 勝哉 (同志社大学 工学部教授)

活動期間  
2021年 4月  
2022年 2月末

欧米に後れを取りつつある日本の航空宇宙産業に対して、自分たちが日本の航空宇宙分野に直接寄与できるように衛星開発を目指して活動。



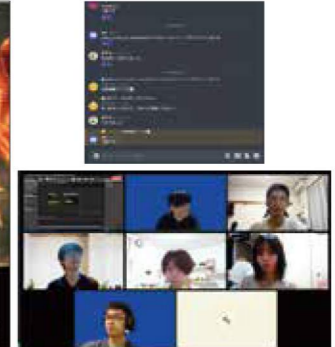
### Programming.Prontier(); RM208

プロジェクトリーダー  
木村 龍二 (同志社大学 工学部3年)

プロジェクト責任者  
土屋 誠司 (同志社大学 工学部教授)

活動期間  
2021年 9月  
2022年 2月末

ノードベースでプログラミングが学べるスマートフォンゲームを制作・リリースし、中学生に「ゲーム」という遊びを通して、楽しくプログラミングを知ってもらう機会をつくることを目的に活動。



### DERC Rocket プロジェクト RM218

プロジェクトリーダー  
2021年9月～12月  
内藤 晴斗 (同志社大学 工学部2年)

2022年1月～2月  
甲斐 勇希 (同志社大学 工学部4年)

活動期間  
2021年 9月  
2022年 2月末

プロジェクト責任者  
平田 勝哉 (同志社大学 工学部教授)

伊豆大島共同実験への参加を目指したハイブリッドロケットの開発を行い、機体設計等の安全審査を受け合格することを目的に活動。





## 同志社クローバー祭 2021

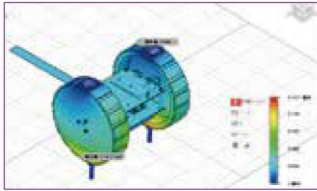
例年、多くの学生・市民が参加して盛大に開催される大学祭「同志社クローバー祭」。昨年度に引き続き、今年度もオンラインでの開催となった。祭と一緒に盛り上げるべく、同志社ローム記念館プロジェクトでも「RPP・SPPの活動報告」「Programming.Prontier();個別企画」「PV動画の公開」などオンライン企画を実施した。

### RPPの活動報告

学生主体のプロジェクト (RPP)。自由にテーマを設定し、持続可能な社会の実現に向けてプロジェクトを企画。新しいモノやしくみを生み出すために活動を展開している。コロナ禍でどんな工夫をしながらプロジェクト活動を行っているのか、RPPの各プロジェクトリーダーが紹介。

#### DERC CanSat プロジェクト

プロジェクトリーダー 田儀 樹 (同志社大学 理工学部3年)



本プロジェクトの最終目的は日本の航空宇宙産業に直接寄与できるような活動を展開することです。この大きな目的を十数年で達成することは困難ですが、この目的に少しでも近づけるように単年度ごとに実現可能な目標を設定しその達成に向けて日々活動しています。本プロジェクトでは人工衛星を模したCanSatという“模擬”人工衛星を開発しています。CanSatには日本の各大学のサークルと成果を競う競技があり、その大会で高順位が取れるよう開発を進めています。具体的には機体の構造解析や製作を行う構造班と、プログラミングや回路設計を行う電装班という2班に分かれて活動しています。また広報班など技術以外の面から活動に関わっているメンバーもいます。

#### Programming.Prontier();

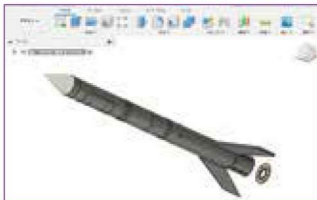
プロジェクトリーダー 木村 龍二 (同志社大学 理工学部3年)

私たちProgramming.Prontier();は9月からプロジェクトが始まり、まず来年度以降のプロジェクト活動のために、勉強会等を通じて新メンバーにゲーム開発の知識を伝え、新メンバーが自分の力でゲーム開発を進められるように教育を行いました。10からはハッカソンを行い、そのハッカソンで制作したゲームを今回、オンライン企画として発表しました。また立ち上げメンバーは、最終的なプロジェクトの目的であるノードベースでプログラミングが学べるスマートフォンゲームの開発を進め、現在はプログラミング環境の構築と軽くドラゴンと戦えるアクションゲームができるまで進んでいます。



#### DERC Rocket プロジェクト

プロジェクトリーダー 内藤 晴斗 (同志社大学 理工学部2年)



こんにちは。私たちはゼロからロケットを作ることを目指すDERC Rocket プロジェクトです。最終的には衛星を私たちのロケットで打ち上げるという壮大な野望を抱いて、現在は高度1km程度を目標としたハイブリッドロケットの製作を行っています。扱ったことのない樹脂や、ハイブリッドエンジンなどの取り扱いに四苦八苦しておりますが、数年後には同志社大学発のロケットが空を舞っているかも！設計に興味がある、航空宇宙が好きだ、大学生活で何か成し遂げたいという人は是非お声かけください。TwitterのDMよりお待ちしております！

### RPP

## Programming.Prontier(); オンライン企画

「Programming.Prontier();」でハッカソンを実施。新メンバーが中心となって制作した2つのゲームのうち、どちらが面白かった(面白そうだった)かを、同志社クローバー祭開催期間中に来場者に投票してもらい対決した。



HPにてゲームの紹介動画と共に実行ファイルを公開。実際にゲームをプレイすることも可能だった。

#### 投票期間

2021年10月29日(金)～11月3日(水)

#### ▼ 開発ゲーム① UTuberシミュレータ



ゲーム実況を体験。コメント返しをしつつ親にバズり実況せよ！



#### ▼ 開発ゲーム② Zombie Shooting



迫りくるゾンビ達。ゾンビを倒して先へ先へと進め！



#### 投票結果

Twitterでの投票の結果、なんと同点！  
今回の経験を今後のゲーム開発に活かしていく。

### SPPの活動報告

企業・自治体と連携して行うプロジェクト (SPP)。今年度は木津川市と連携。「きづがわパンフェス」のPR動画を学生が制作し、木津川市公式YouTube「木津川市インターネット放送局」で2本の動画が公開された。



▲動画はこちら

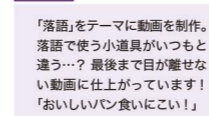
#### ▲タイトル 関西のデートスポット大公開!!



「LINE」をテーマに動画を制作。LINEのやり取りにきゅんとする動画。かわいいイラストにも注目！木津川市のおすすめスポットも紹介。

▲動画第1弾！10月1日(金)公開

#### ▲タイトル 落語家気分でパンフェスPR



「落語」をテーマに動画を制作。落語で使う小道具がいつもと違う…？最後まで目が離せない動画に仕上がっています！「おいしいでんごいにこい！」

▲動画第2弾！10月6日(金)公開

## 同志社ローム記念館プロジェクトPV

猛威を振るう、新型コロナウイルス。2003年からスタートした正課外の実践型教育プログラム「同志社ローム記念館プロジェクト」も活動の危機に…。



▲動画はこちら

社会が大きく変わっていく今だからこそ、プログラムを大きく刷新。新しくなったプログラム内容を紹介したPVを制作し公式YouTubeで公開。



# 2020年度 最終成果報告

毎年2月下旬から3月初旬に開催され、一番の盛り上がりを見せる同志社ローム記念館プロジェクトの「最終成果報告会」。新型コロナウイルス感染拡大により活動中止、6月に計画を策定し直してオンラインに限定した活動で再始動となったこと

などを受けて、例年通りの賞の選定は実施せず、「最終成果報告会」を開催しないことが決定した。2020年度はそれぞれに工夫を展開してきた活動について「新聞」に見立てたポスターを制作しWebサイトで公開した。



## DERCプロジェクト (Doshisha aErospace Rocket & CanSat Project)

プロジェクトリーダー  
**甲斐 勇希** (同志社大学 理工学部3年)

プロジェクト責任者  
**平田 勝哉** (同志社大学 理工学部教授)

メンバー数  
**29名**



### 総括

元々サークルとして活動していたが、より高みを目指し活動の場を広げるべく、プロジェクトとして新たなスタートを切った2020年。開始早々コロナ禍に見舞われ、団体としても初めての活動停止期間を経験。対面での活動が叶わなくなっても、すでに築いていた仲間との絆は強く、活発にオンラインミーティングや勉強会を実施。一部実作業を伴う活動が出来るようになった秋学期には、マルチメディアラウンジや機械実習工場を活用し、モデルロケットの製作も行った。委員の先生方にプレゼンテーションのご講評をいただき、万全の態勢で臨んだ2020年度の集大成となる種子島ロケットコンテストでは、CanSat部門で第2位という輝かしい成績を残した。

## えこまな@京田

プロジェクトリーダー  
**藤井 紀帆** (同志社大学 生命医科学部3年)

参加団体  
**京田辺市・京田辺市教育委員会**

プロジェクト責任者  
**岸 基史** (同志社大学 経済学部准教授)

メンバー数  
**9名**



### 総括

2019年度に続き、京田辺市立普賢寺小学校での環境をテーマとした授業の展開や、京田辺市民を対象とした環境に関するイベント企画の立案・実施など、対面での活動を前提として企画されたプロジェクト。2020年度の活動が完全オンラインとなり、自分たちの得意としてきたコミュニケーションを発揮できる場所が失われたことに対する戸惑いが強く、この状況下で何が出来るのか、悩み抜いた1年。オンライン上での活動でも自分たちらしさを出せるのか、何かを掴む足掛かりになればとの思いで参加した同志社クローバー祭企画では、個性溢れる動画を制作した。また、京田辺市クールチョイス事業の一環である環境教育動画の制作にも意欲的に取り組み、高い評価を得た。



## コロナ禍でのプロジェクト活動

特別編

猛威を振るう、新型コロナウイルス感染症。多くの方が影響を受けたことだろう。同志社ルーム記念館プロジェクトも例外ではない。全ての活動において「感染拡大防止対策」が求められ、様々な工夫を行って活動を実施。今回はそんな「コロナ禍でのプロジェクト活動」における工夫を少しだけ紹介。



# 01

## Teamsの活用

対面での活動が制限される中、直接会ってコミュニケーションを取ることは難しい。そのためPPP・SPP・RPPではTeamsを導入。連絡事項の共有や、意見交換などチャット機能でやり取りし、お互いにコミュニケーションを取っている。「リアクション機能」を使用して「いいね」を押してもらうことで投稿内容を確認したか把握したり、メンバー同士がストレスなくコミュニケーションを取れる方法の模索を続けている。

# 02

## オンラインMTG

すっかりお馴染みになった、オンラインMTG。全てのプログラムでオンラインMTGを活用。PPPではレジュメ・使用資料の共有・議事録などオンラインMTGの基本的なノウハウを学んだ。Googleスプレッドシートやアプリ等を導入することで、オンライン上でもブレインストーミングなども行えるように。情報は対面でのMTGに劣る部分もあるが、場所を気にせず参加できるため、キャンパスの異なる学生同士でも会議がしやすいというメリットもある。

# 03

## 対面での活動

今年度、感染拡大防止のためプロジェクトルームは1名のみで使用するという制限が。従来のようにルームにメンバーが集まって作業をすることが出来ない。そのため1名がルームで作業しつつ、他のメンバーはオンラインMTGで様子を見て指示を出すなど、対面とオンラインでの活動をミックスし、工夫を凝らして活動を行っている。RPPの中には全てオンライン上で活動を完結しているプロジェクトもあり、時代の変化を感じる。感染状況の落ち着きに伴い、会議室やオープンスペースの利用などの制限も徐々に緩和しつつある。

# 04

## 動画の活用

オンラインを活用してプログラムを進めていくにあたり、動画の活用は避けて通れない。PPPでは各ステップで学生に説明動画を共有したり、発表会では事前に撮影した録画データを使用してプレゼンテーションを行ったり…オンラインMTGを撮影しておいて、欠席者への情報共有にも活用したり、ますます今後、「動画の活用」が大切になってくると感じている。

手探りではあるものの、オンライン上での活動に学生も慣れてきた様子。今後も活動の模索は続く…。

## Event Report

# イベント報告

2020年12月～  
2021年12月

- 令和動画職人プロジェクト 最終発表会**  
2020年12月3日(木)  
主催：同志社ルーム記念館プロジェクト運営委員会
- TED -Ed Dokoku 2021 (Recording)**  
2021年2月19日(金)  
主催：同志社国際高等学校
- アイデアの交流会**  
2021年7月20日(火)・10月26日(火)・  
11月9日(火)・12月14日(火)  
12月21日(火)  
主催：ラーニング commons
- ますびた！オンライン**  
2021年12月7日(火)・12月21日(火)  
主催：ラーニング commons

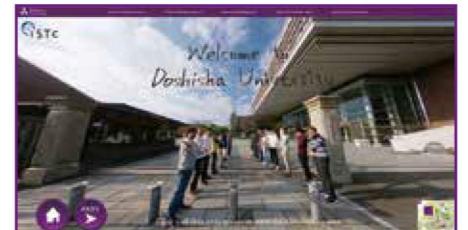
**● 展示**  
留学 Learning Week  
2021年4月19日(月)～4月28日(水)  
主催：同志社大学 国際課

## Pick up! 360° パノラマ撮影!

2020年12月に同志社大学 理工学部・理工学研究科ALL DOSHISHA 共修プログラムにて360°パノラマ撮影を劇場空間で実施。撮影されたパノラマ写真は同志社大学国際科学技術コース (ISTC) の魅力を世界に発信するWebサイトに掲載。  
コロナ禍で来日できない学生はもちろん、同志社大学の学生も楽しめるコンテンツです。ぜひご覧ください。



▲ 詳しくはこちら



## Pick up! 広報きづがわに掲載! 2021年度SPP木津川市連携プロジェクト (詳しくはp3・p6へ)

「きづがわパンフェス」のPR動画を制作した今年度のSPP。  
木津川市の広報誌「広報きづがわ」11月号にPR動画について紹介する記事が掲載された。なんと表紙にも登場し、動画の見どころや、制作に携わった学生について紹介された。  
広報誌は木津川市在住の全世帯に配布され、「きづがわパンフェス」の盛り上げに貢献した。



▲ 詳しくはこちら

